

事業実績シート

1 事業の概要

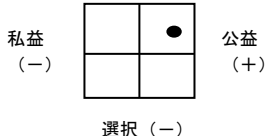
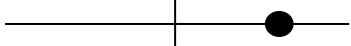
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	小値賀町 UI ターン促進事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	小値賀町	総務課	伊藤朋文	0959-56-3111
事業期間	開始年	平成24年6月30日 (4年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 27年 6月 17日 (完了日) 28年 3月 31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)	
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	過疎化が進む当町にとって、しまへの定住を望む団塊世代、地方へ興味を持つ若者の層をターゲットとして実施した。	情報提供や移住支援等を実施し、中長期的な定住へつなげる。		
助成事業の具体的な内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>○移住相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本気の移住希望者獲得を図るため、アイランダーや郷土出身者の懇親会等に本町のUIターン者を同行させ、移住経験者が直に相談に応じた。 <p>○しま暮らし情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住促進を図るため、しま暮らしの専門情報誌に本町の情報を掲載する。しまの暮らしを具体的にイメージできるようにした。 <p>○UIターン者意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UIターン者同士、またはUIターン者と行政担当者との交流を深め、しま暮らしの状況把握を通じて、定住促進にかかる町の今後の施策の参考とするため、意見交換会を行った。 			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	<p>本町は、基幹産業である農業・漁業の後継者不足などから、少子高齢化による過疎化が年々進行しており、定住人口増加策への取り組みが必須となっている。</p>			
	(経緯・現状)			
	<p>本町はこの10数年、新規就業者支援制度や農業研修生の受け入れ、空き家情報の提供などの定住促進に取り組んでおり、また「民泊」を中心とした体験型観光による交流人口増加策にも取り組んでいるが、そうした中でも過疎化は進行しており、今後更に取り組みを強化する必要がある。</p>			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		1,509,260	2,245,449	1,100,105				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	1,000,000	1,496,966	733,403				
	一般財源	509,260	748,483	366,702				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	定住実績数	毎年10名の定住	人	目標	10	10	10
					実績	21	15	14
					目標達成率(%)	210.0	150.0	140.0
	②				目標			
					実績			
					目標達成率(%)			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input checked="" type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 急速な人口減少が進む状況下において、定住促進を図ることは重要であり、事業が出来なければ移住への入口が狭くなる。 またIターン者を含めた地域コミュニティ維持の為にも不可欠と考える。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		地域おこし協力隊や役場の新規職員募集などで移住者が増加した。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある 実施予定 期 日	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		地域おこし協力隊を活用し、移住の情報発信や相談をできるように検討していければと思う。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		都市部からの移動費や前泊費・飲食費は、受益者負担としている。ただし、今後は移住してこられる際の一部旅費補助などを実施することで、より多くの移住促進を図る。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					